

# 令和5年度 実施事業報告

## 1 振興対策事業及び啓発宣伝活動事業の実施

年間を通して、北九州港の整備振興及び啓発宣伝に資する活動や市制60周年記念事業の船舶招聘等への協力を行った。

### (1) みなとオアシス事業

令和元年11月15日に「みなとオアシス門司港」が134箇所目のみなとオアシスに登録され、北九州港において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを市と協力して実施した。

当協会は、みなとオアシス門司港運営協議会の事務局を担当した。

### (2) 北九州港セミナー

北九州港のPRと一層の利用を促進するため、荷主や船社などの北九州港のユーザーを対象に、市及び関係団体との共催で、東京において、セミナーを開催した。

- 時 期 令和5年10月26日
- 場 所 経団連会館
- 参加者 450人（141団体）

### (3) ポートミッション

国内外の港湾施設と活動状況等の調査・研究のため、視察研修を実施した。

- 時 期 令和5年10月10日～14日 4泊5日
- 場 所 沖縄県（那覇市）、台湾（台北港、高雄港）
- 参加者 26人

### (4) 記念品の製作・販売及び配布（通年）

北九州港のPRを促進するため、北九州港のシンボルマークやマスコットキャラクター「スナQ」をデザインした記念品等を製作・販売し、イベント等で配布した。

記念品 種 類	ポロシャツ、フリース、パーカー、ブルゾン、ぬいぐるみ、 缶バッジ、アクリルスタンド、マスク、マグネット等
------------	---

(5) 歓迎訪船（通年）

歓迎のメッセージを伝え、北九州港をPRするため、初入港した船舶や新規航路の第一船などを対象に北九州市と共同で歓迎訪船を実施した。

月日	船名	船籍	トン数	船社
6月30日	APOLLO BENI	パナマ	7,156	第一中央近海(株)
8月19日	かいふ	日本	9,662	井本商運(株)
12月11日	みわ	日本	749	鈴与海運(株)

(6) 北九州港オリエンテーション

港湾業務の基本を学ぶため、会員企業の新入社員等を対象に、港湾や貿易などに関する研修講座と海上視察を実施した。

■ 時 期 令和5年4月26、27日

■ 場 所 [海上視察]

東コース…田野浦ROROターミナル、太刀浦コンテナターミナル、新門司地区  
砂津、日明、西海岸など

西コース…砂津、日明地区、戸畑、響灘地区（ひびきコンテナ  
ターミナル風力発電等）

[基礎講座] 北九州国際会議場 1階 「メインホール」

■ 参加者 海上視察91人、基礎講座126人

(7) 港湾整備事業説明会

北九州港整備事業、将来計画等について、海運・港湾企業等会員様を対象に、国土交通省九州地方整備局、北九州市が直接説明する事業説明会を開催し、最新の情報及び今後の取組等を情報提供した。

■ 時 期 令和5年7月26日

■ 場 所 KMMビル 4階 「大会議室」

■ 参加者 110人

(8) 港湾セミナー

世界の港湾の最新情報や物流動向、関連する経済情勢などを学ぶため、会員等を対象に、講演会を開催した。

■ 時 期 令和5年9月7日

■ 場 所 北九州国際会議場 2階 国際会議室

■ 参加者 58人

■ テーマ及び講師「くきの海の精神史～川筋から世界へ」

株式会社ギラヴァンツ北九州 取締役会長 玉井 行人 氏

(9) 北九州市からの受託事業

北九州港の役割や海辺の魅力などを市民に周知するため、様々なイベントを通して積極的な情報発信を行った。

① 門司・西海岸へのクルーズ船寄港おもてなし等業務

クルーズ船寄港による港周辺の賑わいづくり及び北九州市の魅力に乗客等へ広くアピールすることを目的とした、入出港時の歓送迎イベント及びおもてなし等を実施した。

月日	船名	船籍	トン数	船社
3月27日	アザマラ・クエスト	マルタ	30,277	アザマラ
4月11日	アザマラ・クエスト	マルタ	30,277	アザマラ
4月20日	ル・ソレアル	フランス	10,992	ポナン
4月27日	ル・ソレアル	フランス	10,992	ポナン
5月13日	スター・ブリーズ	バハマ	12,969	ウインドスター・クルーズ
7月7日	ブルードリームスター	バハマ	24,782	ブルードリームクルーズ
9月24日	シルバー・ウィスパー	バハマ	28,258	シルバーシー・クルーズ
9月27日	飛鳥Ⅱ	日本	50,444	郵船クルーズ

② 北九州港・みなとまちづくり事業

北九州港の魅力を様々なイベント等を通じて広く市民に周知するとともに、人々が集い、賑わう海辺づくりを行った。

ア 船舶公開業務

市民に海や港への理解を深めてもらうため、北九州港(門司区)に帆船「みらいへ」を招聘し、体験航海を行った。

イ 一般寄港記念イベント等業務

北九州港に寄港する船舶等(一般寄港)について、入出港に必要な手配を行う他歓迎訪船等の寄港記念イベントを実施して、歓迎の意を表するとともに北九州港をPRした。

ウ 北九州港市民クルーズ実施業務

船舶等を活用して北九州港及びその周辺における港湾施設見学イベント「大島商船高等専門学校練習船大島丸体験航海」や「白洲灯

台設置150周年記念「洞海湾・響灘クルージング」を開催し、

広く市民に港や海に親んでもらうと共に港の賑わいを創出した。

エ 北九州港マスコットキャラクター「スナQ」を活用した広報活動等業務  
「スナQ」ブランドを活用した情報発信及び市内各種イベントへの参加を行い、ソーシャルメディア等を活用し、北九州港のイメージアップを図った。

また、着ぐるみの貸出し業務等を行った。

③ 北九州ゆめみらいワーク2023「みなとのお仕事ブース」出展業務  
北九州ゆめみらいワーク2023に、港湾関係企業・官公庁等合同で「みなとのお仕事ブース」を出展するため、そのブース管理及び運営を行った。

また、スタンプラリー等を行い、各ブースを周遊してもらう仕組みづくりを行った。

■ 時期 令和5年11月9日、10日

■ 場所 西日本総合展示場 新館

■ 出展企業 … オーシャントランス(株)、阪九フェリー(株)、(株)名門大洋フェリー、九州総合建設(株)、(株)白海、深田サルベージ建設(株)、(株)若港、若築建設(株)、海事ブース(九州海事広報協会、日本船主協会)

関係官庁等 … 門司税関、第七管区海上保安本部、  
北九州市港湾空港局(総合案内)

■ 参加者 主に中学生、高校生、教職員 全体9,155人

■ スタンプラリー参加者数 427人

#### (10) クルーズ船寄港定着化事業

北九州港へのクルーズ寄港の定着化を図るため、「九州クルーズ振興協議会」等に参加し、活動を行った。

また、下関港と連携した「関門港クルーズ振興協議会」の事務局を担当するとともに、関門港に寄港するクルーズ船を利用した旅客等に対する観光資源の情報発信事業等を行い、クルーズ振興を行った。

#### (11) みなと見学会

物流拠点としての港と日常生活のつながりを理解するため、市民を対象に港湾施設等の見学会を開催するとともに、太刀浦コンテナターミナルの見学ガイドを行った。

①みなと見学会

■ 時 期 令和5年9月16日

■ 見学コース 門司港(バス)～太刀浦コンテナターミナル～関門海峡  
海上交通センター～海事広報展示館～関門海峡ミュージアム

■ 参加者 14人

②コンテナターミナル見学会

市民、学校、企業のみなさんに「みなと」を身近に感じてもらうため、また「港」の役割や私たちの生活に深く関わりのある「物流のしくみ」を知ってもらう機会として、太刀浦コンテナターミナルの施設見学におけるプレゼンテーション業務を行った。

■ 活動回数及び見学者数 計 15回 延べ 336人

(12)「海の日」協賛会の行事等

「北九州海の日協賛会」の事務局として、海洋海事思想の普及と市民と海・港とを結ぶ各行事を実施した。

主な行事は、海事功労者表彰式、海の写真展など。

① 「海の日」協賛会行事一覧

行事名	実施時期
船員・港湾作業員慰問	7月1日～31日
船員留守宅家族慰問	7月1日～31日
海上航行安全祈願	7月4日
殉職船員慰霊祭	7月4日
関門港ポート天国	7月16日
海洋少年団市中パレード	7月16日
汽笛吹鳴	7月17日
海の写真展	7月17日～31日
第60回中学生海の日絵画コンクール(九州・山口地区対象)	7月17日～31日
2023年度海の日ポスターコンクール入賞作品展	7月17日～8月10日
式典及び海事功労者表彰式	7月19日
海の日歓迎訪船	7月19日
ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞作品展	8月1日～10日
ミニミニトライアスロン	8月20日
みなと見学会	9月16日
ウォーターフロント・クリーンマナーアップ作戦	10月15日ほか(通年)
巡視船体験航海・展示訓練	11月12日
船員・港湾作業員入院療養者慰問	中止

## ② 花火大会への協賛

「くきのうみ花火大会」、「関門海峡花火大会」に協賛した。

港周辺で開催される関門海峡花火大会に、当協会が管理運営している駐車を観覧席として提供した。

## (13) 海の日海峡クルージング

北九州港の役割や海辺の魅力などを周知するため、市民を対象に、大型フェリーの営業航海を活用したモニター・クルーズを複数回実施した。

当協会は実行委員会の事務局を担当した。

## (14) 定期刊行物の発行（通年）

北九州港に関する情報発信とPRのため、会員等に向けて定期刊行物を発行した。

- ① 機関誌「北九州港」 年1回 800部
- ② 北九州港ニュース 年6回（偶数月）（オンライン）

## (15) ホームページ（通年）

北九州港に関する情報発信とPRのため、ホームページの管理・運営を行った。

## 2 港湾関係共益事業

北九州港に必要な船員その他港湾関係者等の休養、福利厚生施設等に関する事業を実施した。

### (1) 戸畑船員サービスセンターの管理運営

海事関係者の利便性の向上を図るため、戸畑船員サービスセンターの管理運営を行った。

### (2) 港湾振興協会等事務連絡会

港湾振興に関する共通課題の検討や情報交換などを行うため、国内主要港の港湾振興団体の連絡会に参加した。

- 時 期 令和5年11月21日～22日
- 場 所 [会 議] アイリス愛知

「視 察」海上から名古屋港視察（港務艇「ポートおぶなごや  
乗船）

■ 参加者 20人

（参加港 東京、川崎、横浜、名古屋、大阪、神戸、北九州、博多）

（3）交流サロンの開催

役員・会員企業の社員相互の交流と意見交換会の場を提供することを目的  
に実施した。

■ 時 期 令和6年3月7日

■ 視 察 佐伯重工業株式会社（大分県佐伯市）

オーシャン東九フェリー（新門司港）

■ 交流会 ホテル金水苑（大分県佐伯市）

■ 参加者 25人

（4）国際ビジネス支援事業

国際化に対応する人材を育成するため、会員を対象に、国際ビジネスに関  
する研修会を開催した。（北九州貿易協会と共同事業）

・国際ビジネスセミナー

■ 時 期 令和5年11月15日

■ 場 所 AIMビル

■ 参加者 24人

■ テーマ ジェトロ世界貿易投資報告

～分断リスクに向き合う国際ビジネス～

・施策説明

ジェトロ北九州、北九州市の各種施策について

■ 講 師 独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）

調査部国際経済課 課長代理 田中 麻理 氏

（5）新年賀詞交歓会

新年を祝し、北九州港の発展を祈念するため、海運・港湾7団体（関門港  
運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、九州水曜会、門司  
エージェント会、当協会）の共催で賀詞交歓会を開催した。

■ 時 期 令和6年1月15日

■ 場 所 ステーションホテル小倉

■ 参加者 305人

### 3 港内美化事業

未来へきれいな海、海岸を引き継ぐことを目的に港湾関係団体と共同で清掃活動等を実施した。

#### ① ウォーターフロント・クリーンマナーアップ作戦

釣り人や市民の海岸美化に対する意識の向上を図るため、清掃及び啓発グッズの配布により海岸線等の美化について、青少年ボランティア等と啓発活動を行った。

- 時 期 令和5年10月15日
- 場 所 西海岸、門司港レトロ地区
- 参加者 73人

#### ② 海岸クリーンアップ運動

平成20年度から門司港に舞台を移し、大規模な清掃活動を行うことで観光地としての魅力向上に寄与するため、北九州市内の海洋土木業者24社で構成されている「北九州港湾建設協会」会員等が実施する清掃活動に参加した。

- 時 期 令和5年7月9日
- 場 所 西海岸、門司港レトロ地区
- 参加者 250人

#### ③ 海の玄関口清掃活動

北九州市の海の玄関口「新門司フェリーターミナル」で清掃活動を行った。

##### ・2023夏「新門司地区」海の玄関口清掃活動

- 時 期 令和5年8月2日
- 場 所 新門司フェリーターミナル地区一帯
- 参加者 280人

##### ・2023冬「新門司地区」海の玄関口クリーンアップ活動

- 時 期 令和5年12月13日
- 場 所 新門司フェリーターミナル地区一帯
- 参加者 230人



#### 4 その他の事業

##### (1) 駐車場事業

当協会の財政基盤の強化を図り、また、海運港湾事業従事者、観光客の利便を確保するため、北九州市用地を借り受け有料駐車場として管理・運営を行った。

名 称	所在地	収容台数	備 考
新浜駐車場	門司区東港町	25	(一時使用 105 台含む)
西海岸駐車場	門司区西海岸	229	
浅野三丁目駐車場	小倉北区浅野	85	
紫川駐車場	小倉北区浅野	106	
松ヶ島駐車場	八幡東区枝光	22	
妙見駐車場	八幡西区築地町	61	
計		579	